

全国ユース 環境ネットワーク

全国の高校生の環境活動・SDGs活動!

4校は、ユース大会ホームページの掲載写真より選びました。
出所:「第7回地方大会全応募校の環境活動資料を公開!」

海で



兵庫県立神戸商業高等学校

宮城県多賀城高等学校

森で



川で



大阪府立富田林高等学校

福知山成美高等学校

高校で



第8回 全国ユース環境活動発表大会

会場開催決定!

詳しくはP3~P4で

ご挨拶

平素は、環境行政、地球環境基金、及び全国ユース環境ネットワーク促進事業にご協力賜り、御礼申し上げます。

近年、深刻化している二酸化炭素等による地球温暖化や熱帯林の減少、生物多様性の損失等の様々な環境問題について、大雨や猛暑等の身近な気候の変化から、それらを肌で感じることが多くなっています。

こうした状況の中、2021年10月から11月にかけて、イギリスで地球温暖化対策について話し合う国連の国際会議（COP26）が開催され、パリ協定を採択した2015年のCOP21以来、6年ぶりに各国の首脳級が集まりました。我が国からは岸田総理大臣が出席し、2030年までの期間を「勝負の10年」と位置づけ、全ての締約国に野心的な気候変動対策を呼びかけました。

国内では2021年10月に、5年ぶりに改訂された地球温暖化対策計画が閣議決定されました。本計画は、2021年4月に発表された「2030年度の温室効果ガスの削減目標を、2013年度比で46%削減する」という目標を踏まえて策定したもので、その裏付けとなる対策・施策を記載して目標実現への道筋を描いています。

このように、地域を超えてあらゆる主体が協働・連携し、さまざまな取組みが進められつつありますが、とりわけ未来を担うユース世代の活躍・連携の重要性は、かつてないほどに高まっています。

独立行政法人環境再生保全機構では、環境省とともに「全国ユース環境ネットワーク促進事業」を2015年度から実施しており、その一環として、「全国ユース環境活動発表大会」を開催しています。全国各地で環境活動に熱心に取り組む高校生が互いに活動を発表し合い、交流を行うことで、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成へ向けて、パートナーシップを築ききかけとなることを期待するものです。

皆様方におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、積極的な参加をいただきますよう、お願い申し上げます。



独立行政法人環境再生保全機構
理事長 小辻 智之

👑 全国ユース環境活動発表大会第1回～第7回 全国大会アーカイブ



第8回大会の開催にあたり、
第1回から第7回までの
7年間の環境大臣賞など
3賞をご紹介します！

第5回大会 表彰式の様子

第1回 全国大会 (2016年2月14日(日))

※第1回大会は、国連大学賞はありません。

- 👑 環境大臣賞
静岡県立静岡農業高等学校 松葉研究班
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
京都市立伏見工業高等学校 マイクロ水力発電グループ

第2回 全国大会 (2017年2月5日(日))

- 👑 環境大臣賞
長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
慶應義塾湘南藤沢高等部 有志団体環境プロジェクト
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
兵庫県立御影高等学校 環境科学部生物班

第3回 全国大会 (2018年2月4日(日))

- 👑 環境大臣賞
岩手県立遠野緑峰高等学校 草花研究班
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
愛知県立佐屋高等学校 羽ばたけコールドック農法研修班
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
和歌山県立田辺高等学校 田辺高校生物部

第4回 全国大会 (2019年2月10日(日))

- 👑 環境大臣賞
長崎県立五島高等学校 五島環境部
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
岐阜県立恵那農業高等学校 花咲かみつばち倶楽部
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
東筑紫学園高等学校 広谷湿原保全プロジェクト

第5回 全国大会 (2020年2月9日(日))

- 👑 環境大臣賞
広島県立世羅高等学校 鯉米
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
京都府立木津高等学校 ソーシャルビジネス研究班
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
青森県立名久井農業高等学校 Treasure Hunters

第6回 大会 (Web開催 動画発表期間) (2021年1月22日(金)～1月29日(金))

- 👑 環境大臣賞
宮城県農業高等学校 科学部チーム smiles
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
富山県立滑川高等学校 海洋クラブ

第7回 大会 (Web開催 動画発表期間) (2022年1月21日(金)～1月31日(月))

- 👑 環境大臣賞
青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS
- 👑 環境再生保全機構 理事長賞
群馬県立尾瀬高等学校 理科部
- 👑 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
愛媛大学附属高等学校 理科部プラガールズ

会場開催

『やっぱり、**会場**で**発表**したい!』…

今年の**全国ユース環境活動発表大会**は、**会場**で開催します! **高校生のみなさん! 会場でお会いしましょう!**

※会場での開催にあたり、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底いたします。
※大会当日、会場での発表が不可能な高校は、「**発表動画**」での**出場も可**とします。
詳細はP4から請求いただく応募資料をご確認ください。

≡ **主役は高校生** ≡



過去の会場発表大会の様子

「全国ユース環境活動発表大会」とは…

「全国ユース環境活動発表大会」は、高校生のみなさんが取り組む環境活動やSDGs活動を全国に向かって発表する大会です。
はじめての高校も参加経験のある高校も日ごろの活動の成果を発表し、たくさんの人たちに伝えてください! 他校の活動を知ることは大変に参考になりますよ!
また、表彰式では環境大臣賞をはじめ出場全校に賞状の授与をいたします。



表彰状(見本)

発表大会は、「地方大会」と「全国大会」を開催。詳しくは、本誌P3~P4で。

地方大会

2022年12月に全国8地方で開催!

北海道大会	東北大会	関東大会	中部大会
近畿大会	中国大会	四国大会	九州・沖縄大会

全国大会

2023年2月に開催!

東京

「全国ユース環境活動発表大会」の特長…

高校生の
環境活動

全国の高校生が日頃から熱心に取り組んでいる環境活動のジャンル

気候変動

生物多様性の
保全

資源循環

地域環境

SDGs
活動

食品ロス

プラスチック
問題

環境教育

など

発表

◆**会場**で …… 日頃取り組んでいる環境活動、SDGs活動をステージ上や動画で発表!
◆**Web**で …… 発表の様子を、全国に向かってYouTubeなどで情報発信!

情報収集

ほかの高校の発表を、会場では『生』で、Webでは何度も繰り返し見ることができます。
活動の手法や地域連携など、いろいろな発見があります。
自分たちの活動で工夫をすれば、活動の質が高まり、範囲も広がります。

交流

ほかの高校の発表を見終わった後、出場校の高校生は「高校生が選ぶ特別賞」の投票をします。その際、相手高校への「応援メッセージ」を添えてください。
環境課題解決という同じ目的で活動するほかの高校の仲間とメッセージを交換し、エールを送りあうことで互いにつながり、活動の気づきも広がります。





第5回大会の発表の様子(抜粋)

参加高校の募集が始まりました！ ご応募、お待ちしております！

大会概要

高校生が取り組む環境活動やSDGs活動を全国に向かって発表する大会です。会場では、日頃取り組んでいる環境活動、SDGs活動をステージで発表します！またWebでは、発表の様子を、全国に向かってYouTubeなどで情報発信します！

※大会当日、会場での発表が不可能な高校は「発表動画」での出場も可とします。

全国

地方

〈主催〉 全国ユース環境活動発表大会実行委員会

(環境省／国連大学サステナビリティ高等研究所／独立行政法人環境再生保全機構)

〈後援〉 読売新聞社

〈協力〉 地方環境パートナーシップオフィス(EPO)、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、ESD活動支援センター

〈協賛〉 キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社タニタ

地方大会

2022年12月に全国8地方で開催！

各地方大会は、12高校～13高校が出場！

📍 会場開催

※ 会場での開催にあたり、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底いたします。

※ 新型コロナウイルスの感染が拡大する状況の際は、Web開催に変更する場合があります。

出場高校

各地方大会 12高校～ 13高校 出場 (応募多数の場合、一次選考があります。)

表彰

- 👑 地方大会最優秀賞
- 👑 高校生が選ぶ特別賞
- 👑 審査委員特別賞
- 👑 先生が選ぶ特別賞
- 👑 協賛企業特別賞
- 👑 SDGs活動特別賞
- 👑 優秀賞

開催日程

中国大会(広島)

日程 12/26(月) 12時～
会場 TKPガーデンシティ
広島駅前大橋

東北大会(仙台)

日程 12/11(日) 12時～
会場 TKPガーデンシティ
仙台

北海道大会(札幌)

日程 12/4(日) 12時～
会場 TKPガーデンシティ
PREMIUM札幌大通り

四国大会(高松)

日程 12/26(月) 12時～
会場 レクザムホール

近畿大会(大阪)

日程 12/18(日) 12時～
会場 TKPガーデンシティ
大阪梅田

関東大会(東京)

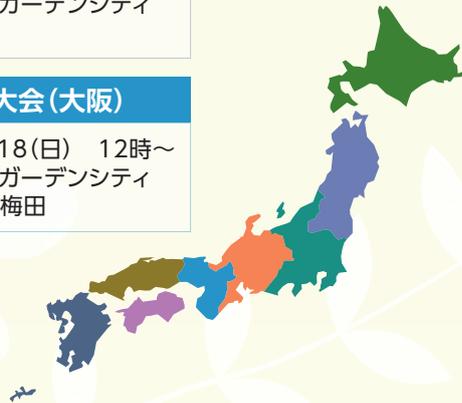
日程 12/18(日) 12時～
会場 ステーションコンファレンス東京

九州・沖縄大会(福岡)

日程 12/4(日) 12時～
会場 TKP博多駅前
シティセンター

中部大会(名古屋)

日程 12/11(日) 12時～
会場 TKPガーデンシティPREMIUM
名駅西口



※ 地方大会は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別に区分いたします。

(北海道)：北海道 / (東北)：青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島 / (関東)：茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、神奈川、新潟、山梨、静岡 / (中部)：富山、石川、福井、長野、岐阜、愛知、三重 / (近畿)：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 / (中国)：鳥取、岡山、島根、広島、山口 / (四国)：香川、徳島、愛媛、高知 / (九州・沖縄)：福岡、大分、宮崎、佐賀、熊本、長崎、鹿児島、沖縄

全国大会

2023年2月に東京で開催!

各地方大会で選ばれた全国の16高校が出場!

会場開催

※ 会場での開催にあたり、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底いたします。
※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が著しい場合は、Web開催に変更する場合があります。

出場高校

各地方大会で「 地方大会最優秀賞」、「 高校生が選ぶ特別賞」を受賞した2校が全国大会に出場します。(各地方 2高校×8地方 合計16高校 出場)

開催日程

2023年2月4日(土)～2月5日(日) (2日間開催)
1日目) 全国ユース環境フォーラム 2日目) 発表&表彰

環境大臣賞

表彰

環境大臣賞 環境再生保全機構理事長賞 国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞
 読売新聞社賞 高校生が選ぶ特別賞 先生が選ぶ特別賞
 協賛企業特別賞 SDGs活動特別賞 優秀賞

応募要領

資料請求、応募から地方大会、全国大会までの流れ



※ 各地方大会の出場校選考(一次審査)は、応募時にご提出いただく「発表動画」をもとに行います。
※ 地方大会、全国大会終了後、各大会のステージ発表を収録した大会動画を Web 上で全国に公開します。

大会に出場するための最初の2ステップ!

Step1 資料請求

- ◆ 応募方法等についてわかりやすく説明している資料をお送りします。
- ◆ 資料請求方法は、2通りご用意しています。いずれかの方法で請求してください。

- 1) メール 全国ユース環境ネットワーク事務局までご連絡ください。
Email : youth@erca.go.jp
- 2) ホームページ 大会ホームページに設置する資料請求フォームからも請求いただけます。
以下の URL にアクセスいただき、各項目にご記入の上、ご送信ください。
大会ホームページ <https://youth.erca.go.jp/> (10月上旬に OPEN 予定)

Step2 応募

資料が届いたら、必要事項を応募資料にご記入の上、発表動画とともに大会 HP から応募してください。詳しくは、資料請求でお送りする「応募のご案内」をご覧ください。

応募締切 2022年11月2日(水) 18:00 必着

ご応募、
お待ちしております!

募集内容

地球温暖化対策、脱炭素、生物多様性の保全、自然共生、資源循環など「環境」に関わる活動、「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標達成に資する活動

応募資格

環境活動、SDGs 活動を実践する高校生等の団体
全国の高等学校、高等専門学校(高等学年)、中等教育学校(4～6年生)の部活動、委員会、有志団体等。
環境活動の実践者が高校生であれば応募可能。高校や所属団体を通じて応募してください(高校以外の環境活動団体や地域団体も可能)。

審査基準

以下の観点から総合的に評価いたします。

自主性

着眼点

協働

改善度

発信力

SDGs観点

交通費

地方大会、全国大会ともに、各団体、引率者、高校生の往復交通費を規定に基づいて支給させていただきます。

みなさんの活動をぜひ応募してください。全国に情報発信しましょう！

情報誌



ホームページ



YouTube



新聞



に掲載します。

「全国ユース環境活動発表大会」、「全国ユース環境ネットワーク 各種セミナーなど」では、情報発信&広報はとても重要なアクション！と考えています。なぜなら、自分たちの活動を仲間や地域の方々に伝え、連携して取り組みたいから。そして、この連携や取組みが、将来の環境保全につながるから。

全国ユース環境活動発表大会にご応募いただくと・・・

ご応募いただいた全高校

応募高校全校の活動を、以下の媒体で情報発信&広報します。(一部予定)

ユース情報誌

「全国ユース環境活動事例集2022」に掲載例(前年実績)のようにみなさんの活動内容を掲載いたします。事例集は、全国約4,900高校、全国約100大学(環境サークル)、環境省、協賛企業などに配布しています。



事例集 掲載例

ホームページ

ユース大会のホームページに掲載例のようにみなさんの活動内容を掲載いたします。応募高校全校の情報が掲載されます。ぜひご覧ください。



事例集 表紙見本



ホームページ掲載例

YouTube

ご応募いただいた「発表動画」は、YouTubeにアップし全国の方々にご覧いただきます。

新聞

読売SDGs新聞(配布用PR紙)に、応募高校全校の情報が掲載されます。(予定)



地方大会 出場高校

上記の「ご応募全高校」の内容に加え、以下の媒体で展開します。(一部予定)

ユース情報誌

情報誌「全国ユース環境ネットワーク Vol.16」(2023年3月発行)に地方大会の内容を掲載いたします。

ホームページ

8地方大会の様態を収録し、(または「発表動画」で)全国の方々に発表の様子をご覧いただきます。

YouTube

8地方大会の様態を収録し、(または「発表動画」を)YouTubeにアップし全国の方々にご覧いただきます。



HP、YouTube に動画をアップ

全国大会 出場高校

「ご応募全高校」・「地方大会」の内容に加え、以下の媒体で展開します。(一部予定)

新聞

全国大会の様態を読売中高生新聞に掲載し全国の方々にご覧いただきます。(予定)



<第1回> 全国高校 環境活動アンケート

ご協力をいただきました先生方、
ありがとうございました。

アンケート結果

先生方の関心 …… 1位 SDGs / 2位 気候変動 / 3位 生物多様性

2022年3月～4月、全国ユース環境ネットワーク事務局では全国の高校の先生方を対象に高校生や先生方の環境意識やSDGsへの関心などを調査いたしました。ご回答をいただきました先生方、ご協力誠にありがとうございました。

<第1回> アンケート 集計結果 (抜粋掲載)

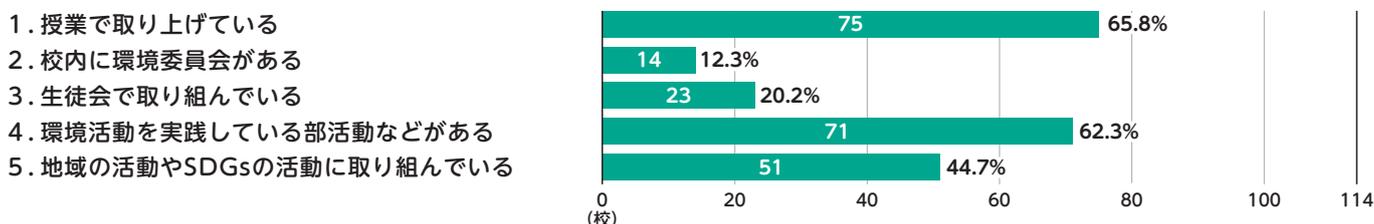
アンケートの目的

高校生の環境意識やSDGsへの関心などを調査し、新しい時代で活躍する高校生に幅広い環境情報を提供することを目的としています。

ご回答 集計結果

- ◆ご回答高校 合計114校(国立2校、都道府県立/公立88校、私立24校)
- ◆「全国ユース環境活動発表大会」参加経験あり63校、なし50校、無回答1校

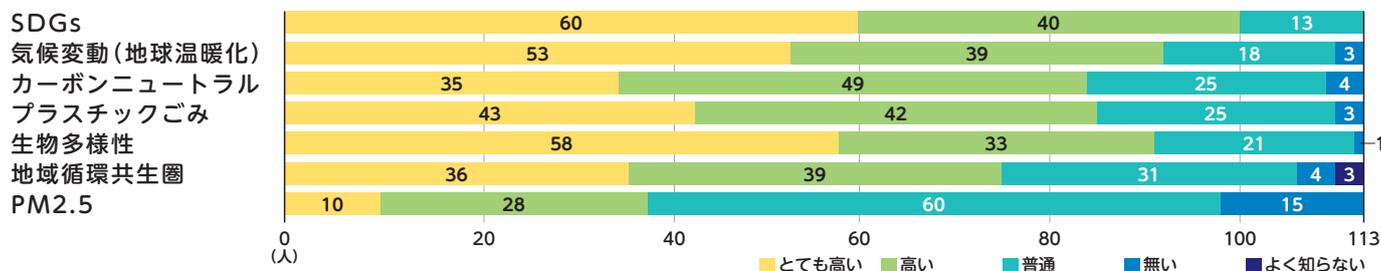
設問 貴校の「環境活動」について伺います。(日頃の環境活動の実施状況 複数回答可)



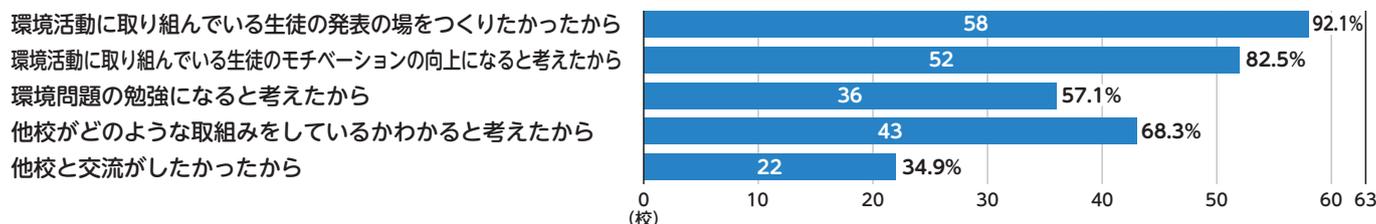
生徒会・環境委員会の実際の活動事例

校内・郊外での美化活動 グリーン作戦	校外ゴミひろい 地域の清掃活動	教室環境の整備 リサイクル ゴミゼロ運動 グリーンカーテン	ペットボトルキャップ集め エコ石けん 小さな家電の回収 コンタクトレンズ空ケース回収	環境美化 花壇 古紙回収 地域住民河川清掃活動参加
-----------------------	--------------------	--	---	------------------------------------

設問 回答をされた先生の「今後の関心項目」について伺います。(回答者の関心項目)



設問 「全国ユース環境活動発表大会」について伺います。(「大会参加経験あり63校」の参加理由)



先生方からのコメント

- ★全国の高校の様々な取組みを学ぶことができ、地域での環境保全活動への動機づけとなります。
- ★多くの生徒たちが、過度の負担なく続けられる、持続可能な活動・取組みについて知りたく思います。
- ★環境活動に取り組んでいる生徒の貴重な交流の場なのでこれからも継続してほしい。
- ★教育効果もさることながら、自分たちが将来生きていく地球の環境を自分たちで真剣に考えるのが当たり前であるのが今の高校生であるし、汚れた地球を残そうとしている大人たちに大きな責任がある。

ユース事務局では、引き続きアンケートを実施しています。ご協力賜りますようお願いいたします。
(アンケート用紙は、本誌に同送させていただいています。)

全国の高校の生徒会・環境委員会の環境活動、SDGs活動をご紹介します！

「全国ユース環境活動発表大会」に応募される全国の高校生は、とても熱心に環境活動やSDGs活動に取り組んでいます。あらためまして敬意を表します。この活動が地域に広がり持続可能な取組みになりますよう継続されることを期待しています。ところで、全国の高校では、生徒会や環境委員会ではどんな活動をしているのでしょうか？先日のアンケートより回答をいただいていますので、その事例をご紹介します。

生徒会や環境委員会の環境活動・SDGs活動

(アンケートより抜粋)

【北海道】

- 知床ごみゼロ運動
- ペットボトルキャップの回収、リユース品の物資支援

【東北】

- 小さな家電等・ペットボトルキャップの回収
- 全校生徒で地域の緑化活動に取り組んでいる
- コンタクトレンズ空ケース回収、ごみ拾い清掃

【関東】

- 環境美化、リサイクル、エコ石けん、花壇
- 古紙回収、クリーン作戦
- 浜松市SDGsプラットフォーム推進
- 校内外の清掃活動
- ゴみの分別活動、花壇の手入れ、そうじ用具の整理等
- 生徒職員共に環境美化、コロナ対策
- コンポストマシンを活用したエコ活動、ペットボトルのキャップ回収・ラベルレス運動
- 毎年恒例 舎外清掃
- ゴみ拾い

- PET ボトルキャップの回収など
- 文化祭ゴミ削減

【中部】

- 校内・郊外での美化活動
- 地域清掃や河川環境啓発などを実施
- 生徒会役員が地域のリーダー研修に参加し、諸行事で環境保全活動に参加
- 再生資源回収

【近畿】

- マコモを使った伝統素材の活用
- 天橋立の清掃活動
- 地域住民による河川清掃活動への参加など

【中国】

- ペットボトルキャップを集め、発展途上国で子どものワクチン代として寄付している
- 校内美化、ごみの分別の徹底など

【四国】

- 教室環境の整備
- 地域の清掃活動、リサイクル活動など
- グリーンカーテンを実施している
- リサイクルやエコ活動に取り組んでいる

【九州・沖縄】

- ペットボトルキャップ集め
- 校外ゴミひろい
- 校内美化
- 環境美化係としてゴミの分別や緑化活動



(イメージ)

事例紹介

北海道標津高等学校

授業

生徒会

自然科学部

北海道標津高等学校は、日頃から、いろいろな環境活動を実践しています。標津高校を参考に、みなさんの高校でも何かのアクションに取り組んでみてはいかがでしょうか？



標津高校

高校紹介

綺麗な海を守る！

北海道標津高等学校は、知床半島の付け根に位置する全校生徒100名の普通科高校です。本校では、綺麗な海を守るため、野付巡検、知床ごみゼロ運動、海洋マイクロプラスチック調査の3つ環境活動に取り組んでいます。

授業

自然観察と漂着ゴミの回収

1学年の総合的な探求の時間では、「野付巡検」を実施しています。野付半島先端の砂嘴で、自然観察と漂着ゴミの回収を行っています。

生徒会

小中学生とともに

知床ごみゼロ運動は、生徒会が主体となり、昨年度は町内の小中学生とともに海洋ゴミの回収を行いました。また、今年度は近隣3高校と連携して運動を行い、海洋ゴミ問題について広く意識を高めることができました。

自然科学部

海洋マイクロプラスチックに着目

自然科学部では、SDGs14に向けて、ゴミ拾いでは回収しきれない海洋マイクロプラスチックに着目し調査をしています。安価で安全なプラスチックの検出法として、偏光板を用いる方法と塩化カルシウム水溶液を用いる方法を確立しました。これからも綺麗な海を守るため、SDGsを意識しながら環境活動に取り組む予定です。



知床ごみゼロ運動

2022年7月29日(金)、宮城県仙台市の会議室で「高校生SDGsセミナー」を開催。東北地区の9校が会場参加、5校がWeb参加。全14校の高校生がSDGs意見交換を実施しました。

主催：独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク事務局

共催：特定非営利活動(NPO)法人 環境会議所東北 環境甲子園



会場参加9校のみなさん



Web参加5校のみなさん

参加高校

会場&Web
合計14高校

青森県立むつ工業高等学校
青森県立木造高等学校
秋田県立新屋高等学校
宮城県志津川高等学校
宮城県古川黎明高等学校

青森県立三本木農業高等学校・三本木農業恵拓高等学校
岩手県立遠野緑峰高等学校
秋田県立能代松陽高等学校
宮城県多賀城高等学校
宮城県築館高等学校

岩手県立花巻農業高等学校
宮城学院中学校高等学校
宮城県利府高等学校
山形県立山形西高等学校

セミナー内容 東北地区 高校生SDGsセミナー 2022夏

テーマ： 生物多様性とSDGs～高校生同志のSDGs意見交換会

目的： 東北6県の高校が集まり、「持続可能な社会」について学び、環境をテーマに話し合う。



内容

- ① 情報共有～SDGs概要
- ② 基調講演 東北工業大学 山田一裕教授
(講演名：環境研究との出会いと今)
- ③ ワークショップ 生物多様性の保全とSDGs



東北工業大学
山田一裕教授

ヨシ(ヨシ原)ってどんな植物？

- ① 植物の特徴
 - ・イネ目イネ科ヨシ属ヨシ (*Phragmites australis*)
 - ・茎が節状、地下茎でも繁殖する大型の多年草
 - ・世界中に分布している
 - ・ヨシが繁茂している場所をヨシ原と呼ぶ。
- ② ヨシ原の役割・機能
 - ・日本の原風景の維持(みやぎの原風景百景)
 - ・多様な野生生物の生息地
 - ・水質浄化や環境浄化(水質浄化機能)
 - ・地産地消(芋煮きねなど)への資源供給
 - ・文化財・伝統的たぐいの建造物・農具(舟)製造や伝統工芸品の材料供給
 - ・二酸化炭素の吸収(炭素シンク)

課題として
ヨシ原に関わる職人の高齢化や人材不足、農産物の産出量の減少、農具による環境減少→持続可能性が低下

基調講演資料

参加高校生の感想

(抜粋) 参加者多数のため、高校生の感想より抜粋して掲載させていただきます。

- ◆ 水環境を中心として、ヨシ原に生息する動植物の研究に興味をひかれた。
- ◆ 他の高校の研究に高校周辺の生物調査があったが、この研究は生物多様性の研究に関連していると感じた。
- ◆ 1つの観点ではなく、一見関係なさそうな所から多面的にその観点を見ることで、これまでは気づけなかった事も発見することができた。
- ◆ 高校生の自分には何もできないのではないかと感じていましたが、あらゆる視点から物事を見ることで取組みが可能であると思った。
- ◆ 東北という1つの地方とはいえ、地域や特色が違うからこそ多様な考え方があるのだと感じた。
- ◆ 喫緊の課題である飼料生産に関して、高校生から課題に取り組み、地域を巻き込んだ活動していく必要があると思った。
- ◆ 食料廃棄物や家畜を利用するなどといったアイデアが出てきてとても面白かった。生物と自然の関わりを再確認できたので学んだことを活かし、今後の地球を担うユース世代として積極的に取り組んでいきたい。
- ◆ もっとほかの県の人たちの取組みを聞いてみたいと思った。
- ◆ ほかの高校の人が、「自分たちのやっている取組みに興味を持ってもらい、たくさんの人に広めたい。」というのを聞いて、私もたくさんの人との連携を大切にしたいと思った。



セミナーの様子

2022年7月21日～22日の2日間、全国から4高校を招いて、東京の国連大学で第7回全国ユース環境活動発表大会に参加した高校生などを対象にフォローアップ研修を実施しました。参加した高校生は、国連主催の国際会議と研修に参加し、自分たちの活動と世界が抱える課題とのつながりについて学びました。



1 第3回 パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議

（主催：国連経済社会局、国連気候変動枠組条約事務局、ホスト：環境省、パートナー：国連大学）

国連でSDGsを推進する国連経済社会局(UNDESA)と、パリ協定を推進する国連気候変動枠組条約事務局(UNFCCC)が主催する会議に参加しました。この会議には、世界各国から対面とオンラインで130名以上の専門家が登壇し2,000人以上が参加しました。山口壯環境大臣(当時)をはじめ各国閣僚、国連機関・組織のトップ、ビジネスリーダー、科学者、ユースの代表らが、相互に関連する気候変動対策とSDGsの課題を相乗的に解決する方策について議論しました。議論の成果は、9月の国連総会、11月の国連気候変動枠組条約第27回締約国会議(COP27)、12月の生物多様性条約第15回締約国会議(CBD COP15)、2023年9月のSDGサミットや、その他の主要な国際会議への重要な知見としてサマリーにまとめられる予定です。会議に参加した高校生は、同時通訳機を使って、国際社会における最新の知見を学びました。



2 全国ユース環境活動発表大会 フォローアップ研修

（主催：全国ユース環境活動発表大会実行委員会、協力：GEOC）

4校の活動発表やグループワークなどのフォローアップ研修を実施しました。この研修には、国連大学サステナビリティ高等研究所で研究を行う大学院生も参加し、自身がサステナビリティ分野の研究に関心をもったきっかけや、現在の研究内容を共有しました。また、グループワークでは、それぞれの活動の改善点や、今後連携すべきパートナーについて、高校生同士が積極的に意見交換を行い、最後に今後の活動へのアイデアをまとめ発表しました。

発表する国連大学のジョセフィン・ヴァウダー・カイピスさん▶



参加高校生の感想 (抜粋)

愛媛大学附属高等学校 理科部 プラガールズ

「世界をよくするために必要なのは中期的・短期的かつ具体的な目標を定めること」という言葉が印象に残りました。パリ協定6条についての理解を特に深めることが出来ました「理想主義になってはならない」という言葉が印象に残りました。今回の研修のようなお互いの活動について意見を交わすことが、シナジーを生み出す大切な機会になることがわかりました。



群馬県立尾瀬高等学校 理科部

ただ気候危機を解決するだけでなく、その行動が他の経済活動などにも利益をもたらすものであることが国際的な問題で多様なステークホルダーが混在する問題を解決するためには大切だと感じました。どの学校も活動を色々なところを巻き込んで行って、学校の中だけで完結させるのではなく、どう周りを巻き込んでいくのが大切だと感じました。



晃華学園高等学校 Banana to The Futures

一つの視点で考えるのではなく、多数の意見を取り入れることで、今回の会合のテーマであるシナジーが生まれるのだと考えました。他校の方々も私たちと同じように、どうしたら多くの方々に活動を知っていただけるかということが課題であることがわかりました。グループワークにおいて、積極的に相互にフィードバックしあい、環境に配慮した行動への思いを共有し、有意義な時間となりました。



石川県立金沢泉丘高等学校

漠然としたSDGsや気候変動のイメージが明確になって、相互作用させることがそれらの問題を解決することに繋がるとわかった。今まであまり関わったことの無い分野の研究を同世代がしていることに感動した。研究内容は違えど、方針や進め方は参考になる部分が多く、有意義な時間を過ごせた。二日間で学んだことを少しでも多くの人に伝えることができればいいと思う。



全国大学生環境活動団体SDGsミーティングを実施しました。

参加団体

- ◆ 北見工業大学 北見工業大学環境保全学生委員会(KITeco)
- ◆ 芝浦工業大学 石垣島をもっと元気にするプロジェクト
- ◆ 芝浦工業大学 SDGs 学生委員会-綾いと-
- ◆ 国際基督教大学 ICU SUSTENA
- ◆ 公立鳥取環境大学 学生EMS委員会
- ◆ 長崎大学 ながさき海援隊



全国大学生環境活動団体SDGsミーティング



日程 2022年8月6日(土)

主催 独立行政法人環境再生保全機構全国ユース環境ネットワーク事務局

会場 東京都新宿区 会議室

共催 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会

2022年8月に、国内の環境活動に取り組む大学生の6つの団体が対面、およびオンラインで集まる「全国大学生環境活動団体SDGsミーティング」を開催しました。

北は北海道、南は長崎県から大学生が参加し、交流を深めました。今回のイベントでは持続可能な社会について改めて考える機会を提供し、参加者の団体や参加者自身の今後の環境活動や、日常生活におけるSDGsとの関わり方を再確認しました。



参加大学生の意見 (抜粋)

〈ワークショップⅠ〉～持続可能な社会と何か～

- ◆ 新型コロナウイルス感染症が流行してからは、罹患を恐れ、感染症を自分事と意識し、マスクの着用が習慣した。同じように、環境問題やSDGsも自分事になれば、それが習慣化し、持続可能性へとつながる。
- ◆ SDGsは2030年の目標ではあるが、大切なはその過程である。SDGsの考え方が習慣化されれば、それが成果となる。取り組むことへのメリットが必要で、個人だけでなく、企業としても環境問題を自分事として捉えることが重要だと思う。
- ◆ 日常生活でのエコバックの活用など、一人ひとりの環境に配慮した行動が当たり前になることが持続可能につながると思う。また、自然を愛する思いを持つことも大切だと思う。
- ◆ 一人ひとりが持続可能な社会について考えることが大切だと思う。自覚することで、持続可能な考えが根付いていく。
- ◆ 今ではリサイクルされるようになったペットボトル。そういったことを、一人ひとりが自覚し、根付かせていくことが、大学生の環境活動団体の役割であると感じた。

〈ワークショップⅡ〉～全国の大学生環境活動団体が連携することでできる活動は?～

- ◆ 「環境」という言葉は親しみももてず、とっつきにくい印象がある。そこで、親しみを持ちやすい活動として、全国の環境活動団体で同じ日時に一斉ごみ拾いをしてはどうか。「環境×楽しさ」をモットーに、学生や企業、地域住民等を巻き込んで、楽しみながらごみ拾いができるといい。
- ◆ 各大学でペットボトルのラベルを集めてアート作品を作るという意見が出た。大学生がどれ程のペットボトルを使用しているか、関心を集めて認識してもらおう機会になる。
- ◆ 各団体の活動をSDGsのゴールに当てはめてはどうかという意見も出た。可視化して一覧で大学生の環境活動団体をまとめられると面白いと思う。
- ◆ 北から南へ実際に「バトン」を渡しながら、リレー形式で清掃活動を実施してはどうか。

エココンの紹介 ～全国大学生環境活動コンテスト (エココン) とは～

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、座談会(交流会)の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト(通称:ecocon)を行っています。ecoconは2003年より毎年開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。

エココンの連絡先

全国大学生環境活動コンテスト(エココン)実行委員会 tel: 03-5402-5355
mail: support@ecocon.info (株式会社ダイナックス都市環境研究所内)



全国ユース環境ネットワークと全国大学生環境活動コンテストは連携し、大学生の環境活動を応援しています。



第8回 全国ユース環境活動発表大会

3年ぶりに会場で開催します! 参加高校募集中

詳しくはP2-P4をご覧ください。

今年は新型コロナウイルスの感染対策を十分に講じたうえで、各地方の会場にて地方大会を実施します!
 なお、新型コロナウイルスの影響等で会場での発表が不可能な団体は、「発表動画での出場」もOK。
 はじめての高校も参加経験のある高校も、日頃の活動を全国に発信し、交流してください!

地方大会

全国8か所で地方大会を開催し、発表・交流・表彰を行います。

- 北海道大会 (札幌) 12/4日
- 中部大会 (名古屋) 12/11日
- 近畿大会 (大阪) 12/18日
- 中国大会 (広島) 12/26日
- 九州・沖縄大会 (福岡) 12/4日
- 東北大会 (仙台) 12/11日
- 関東大会 (東京) 12/18日
- 四国大会 (高松) 12/26日

全国大会

各地方大会で選出された2校、計16校が出場
 2023年2月4日(土)~5日(日)に東京都内で開催

- 〈主催〉 全国ユース環境活動発表大会実行委員会 (環境省/独立行政法人環境再生保全機構/国連大学サステイナビリティ高等研究所)
- 〈後援〉 読売新聞社
- 〈協力〉 地方環境パートナーシップオフィス (EPO)、地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)、ESD活動支援センター
- 〈協賛〉 キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社タニタ

私たちは、ユースの環境活動を応援しています。



事務局より



現在も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、私たちユース事務局は変わらず、さまざまな機会を通じて、環境活動に取り組むユース世代のみなさんを応援しています。
 7月に国連大学で実施したフォローアップ研修には、昨年度の全国大会で入賞した団体等の高校生が参加し、自分達の活動の紹介や他校の生徒さんとの交流を行っていただきました。
 本誌でご案内の通り、今年度の発表大会は、3年ぶりに会場で開催予定です。ぜひ地方大会、全国大会で交流を深めてください。ご応募お待ちしております!!
 ◀全国ユース環境活動発表大会フォローアップ研修の様子(詳細はP9)

たくさんのご応募お待ちしております。
 皆さんと会場でお会いできるのを楽しみにしています!



環境再生保全機構からのお知らせ

読み終わった本で環境保全活動に貢献しませんか?



「本de寄付」は本やDVDの買取金額が寄付金となり、NGO・NPOの環境保全活動に役立てられます。

- ①読み終わった本を段ボール箱へ
(送れるもの) 書籍・コミック・CD・DVD、ゲームソフトなど
- ②「本de寄付」に申し込む
ホームページ・TELからお申し込み下さい。
- ③送料無料でお引き取り
ご指定の日時に配送業者が無料で集荷に伺います。
- ④買取金額が寄付される
ご寄付額を記載したお礼状を送付します。

お問い合わせ(平日10:00~17:00) ●申し込み先 ☎ 044-520-9606

SNSでユース事業のほか、助成団体の活動、地球環境基金のイベント、講座、研修のご案内等を発信しています!

フォローお願いします!

